



姉妹都市ヘイスティングズ市 ホームステイプログラム

異国に行ってみて ～子どもたちの感想～

毎年恒例のホームステイプログラム。今回は7月19日から30日までの12日間、高校生1人、中学生7人、農業研修生1人、通訳1人、随行職員1人、合計11人がアメリカ合衆国ネブラスカ州ヘイスティングズ市へ行ってきました。今回の研修では農業従事者が社会人代表として参加しましたが、それぞれが自分の目的を持ってホームステイに取り組み、充実した日々を過ごしました。

異国の文化に触れ、直接体験し、何か一つでも自分のために吸収しようと努力したことは、彼らにとって大きな力になると感じました。今回の研修を踏まえて、満足するのではなく、参加者が国際社会の一員として、柔軟な国際感覚を身につけていけるように、今後のホームステイプログラムを見つめ直し、より充実した研修にしていきたいと思います。



今回、社会人研修生としてホームステイプログラムに参加した農業従事者の合志孝信さん。学生たちとは違うプログラムの中でとても充実した研修ができたようです。

今回農業従事者として、アメリカに行く機会が与えられ、本当にありがたく思いました。研修はホームステイ先のご家族の配慮で、学ぶことの多い有意義な研修となりました。私の研修の目的は、アメリカにおけるバイオエタノール並びに遺伝子組み換えの実態、生活様式の違いを体感することでした。研修先のアグロットさんの農場では奥さんとの家族経営で、とうもろこしと大豆を約1,200 ha耕作されておりました。これは大津町全体の農地と変わらない程の規模です。私の作付面積を聞かれ、少し多めに約4 haだと答えると自分の庭の広さだと言われ、ショックを受けました。しかし、家に事務所を構え、パン

構え、パン

コンで商社と市況をやり取りする農家のビジネス姿勢には学ぶべきものがありました。翌日、エタノール工場を見学しました。この工場では、日量440tが生産されています。工場に集められたとうもろこしの3分の1がアルコール燃料となり、3分の1が二酸化炭素を元にドライアイスを作り、コーラなどのジュースの炭酸に使われ、残り3分の1のしぼりかすが、牛や豚、鳥の飼料になっていました。日常生活に触れてみて感じたことは、アメリカ人はよく人をほめます。「ほめて、人を育てる」ということだと思えます。例えば、少しでもぶつかりそうになるときは、必ず「Excuse me」と言い、お礼を言うときは「Thank you」と自然に言葉が出る礼儀正しさがありません。子どもの教育ではこんなことがありました。ある晩、養鶏所の少年が卵を売りに来ました。アメリカでは、

夏休み中にアルバイトをし、そのお金で中古車を買ったり、携帯電話代を払ったりします。日本と比較して、働くことの大切さやお金の使い方として反省させられました。最後にヘイスティングズ市は、外出時に鍵の心配もいらないような治安のいいところであり、街で見知らぬ通行人に挨拶をされるなど、日本の田舎に似たところがありました。研修前に習った歌「One the same」離れていても気持ちは繋がっている「一緒だよ」という意味が素直に理解できた楽しい研修でした。今回の研修は想像以上に内容が濃いものでした。これから社会人枠というものを大事にしてさまざまな経験を色んな人にしてもらい、子どもたちだけでなく大人の人にも有意義な研修にしていきたいと思います。



ひらおか なつ き
平岡 夏希さん

私は今まで外国人に対して「優しいのかな」とか「ちゃんと相手にしてもらえるのかな」とかそういうことを思っていました。しかし、その考えは全く違って、私のへたくそな英語を真剣に聞いてくれるとても優しい人ばかりでした。言葉が通じず、困ったり悩んだりしている時はお互いが助け合うようになり、アメリカに行ったことで改めて協力することの大切さを学びました。



むらまつ かつあき
村松 克草さん

アメリカは日本と違って1食にでる食事の量がとても多く、ビックリしました。いろいろなことを経験させてもらいましたが、1番違うところ思ったところは、家の中でも靴を履いているということでした。寝るとき以外、靴を脱がなかったのが少し違和感がありました。



お が た み さき
緒方 美咲さん

私はアメリカに行って日本の食べ物のかいを紹介してきました。アメリカではご飯がありません。たまにパンがでただけで、ほとんどがおかずとサラダでした。日本では朝ごはんにお味噌汁とご飯ですが、アメリカではシリアルやパン、マフィンなどでした。色々なことを経験しましたが、少しでも自分の力になるように努力していきたいと思いました。



いまむら み おり
今村 光織さん

アメリカはとても綺麗で日本とは全然違うように感じました。日本も見習って綺麗にしていきたいと思います。廃墟ゴミの撤去、落ち葉や枯葉の掃除などボランティア活動が欠かせないと思いました。



まつなが
松永ひかりさん

私は日本に帰ってきて変わったことが2つあります。1つは昔より英語が好きになり、もっと勉強して覚えていこうと思うこと。もう1つは自信を持って物事をはっきり言えるようになったことです。アメリカに行ったことで少しでも変わることができ、毎日が新鮮で楽しく感じます。こんなにいい体験ができて良かったです。



はしもと あおい
橋本 碧さん

日本では自分のクラスと自分の教科書がありますが、アメリカでは自分のクラスがなく、移動をしなければならないし、教科書は学校から借りているそうです。休み時間は5分ぐらいしかないそうで、みんな休み時間は走っていて大変そうでした。私がお世話になったホストファミリーは優しい質問をしてくれたのでとても助かりました。



か い ゆり こ
甲斐由里子さん

私はホームステイで自分の英語の能力がどれだけ通用するのかを体験してきました。自分の単語の知らなさにもどかしさを感じ、単語が一つわからなかっただけで会話がわからなくなっていました。しかし、ジェスチャーなどを使うことでコミュニケーションをとることができました。今回の貴重な体験を、さまざまな形で自分の将来に繋げていき、プラスにしていきたいと思いました。



とみなが ち さと
富永 千誠さん

初めは自分がお世話になるホストファミリーがどういう人か気になっていて、歓迎会のときに対面するとお母さん以外がサングラスをかけていて、とても緊張しました。しかし、自由行動になるとみんながフレンドリーに話しかけてくれて、緊張がほぐれました。とても優しい家族だったので楽しく日々を過ごすことが出来ました。靴のまま家に入るというのは違和感がありましたが、すぐに溶け込むことができました。